

## 令和5年度(2023年度) 学校評価アンケートの結果分析

学校評価の結果は、昨年も高い評価をいただきましたが、今年度も多くの設問で同等、もしくはそれ以上の評価が見られました。全18設問中「そう思う」・「やや思う」の回答が7割以上を占めている設問数は、生徒は18、保護者も13であり、学校生活に対してある程度満足・ご理解いただいていると考えます。

一方で、昨年度の分析で課題点として挙げられた「そう思わない」・「あまりそう思わない」の割合が、僅かではあるが増加しています。今回の分析結果を真摯に受け止め、来年度に改善できるよう、学校生活について丁寧に見つめ直す機会としたいと思います。

### 【生徒アンケートより】

#### 《成果/そう思う・やや思うの意見の合計がアップした設問》

- 設問 1 学校が生徒に身につけて欲しいこと(学校教育目標)を理解している。(8%↑)
- 設問 2 学校は、安心して楽しく生活できる雰囲気がある。(2%↑)
- 設問 3 先生は、新しい生活の決まりに沿って、安心・安全に学校生活が送れるように指導してくれている。(2%↑)
- 設問 5 体育祭・文化発表会等の行事では、活躍する場があった。(4%↑)
- 設問 6 あなたは、授業のねらいや目標を理解して授業にとりこんでいる。(4%↑)
- 設問 7 授業は、生徒が参加しやすく、活躍する場が多く作られている。(6%↑)
- 設問 8 自分が理解したり考えたことを授業を通して発展させる事ができる。(7%↑)
- 設問 9 先生は評価・評定について、生徒が分かるように、説明している。(1%↑)
- 設問10 評価・評定は、自分の普段の努力や意欲が反映されている。(2%↑)
- 設問11 総合の時間で学んだことは、将来の生きる力につながる。(11%↑)
- 設問12 先生は、生徒の悩みや相談をよく聞いてくれる。(2%↑)
- 設問13 友達とのふれあいや思いやり・いじめ防止について学ぶ機会がある。(7%↑)
- 設問14 人権や命の大切さ・社会のルールについて学ぶ機会がある。(6%↑)
- 設問15 学校では、規則正しい生活や健康管理について学ぶ機会がある。(8%↑)
- 設問16 地震や火災、緊急な出来事が起こった時の対応など、安全面についての学習の時間がある。(4%↑)
- 設問17 学校の施設・用具等は、良く点検・修理されていて、安全に生活・学習ができています。(8%↑)
- 設問18 学校では保護者・地域と協力し合った取り組みをしている。(3%↑)

⇒ほぼ全ての設問で同等、もしくはそれ以上の評価を得られました。昨年度以上に学校生活も制限がほぼなくなり、充実した活動が行えるようになったからと考えられます。今後も日常の丁寧な指導を継続していきます。以下、特筆すべき増加の割合が高かった理由について考察します。

- 設問11 総合の時間で学んだことは、将来の生きる力につながる。(11%↑)  
⇒今年度より、「職場訪問・体験」を削除。「判断できない」層が11%減。⇒大幅アップにつながったのでは。
- 設問17 学校の施設・用具等は、良く点検・修理されていて、安全に生活・学習ができています。(8%↑)  
⇒校舎西側トイレが新しくなり、だれでも使えるトイレも設置された。⇒大幅アップにつながったのでは。

#### 《課題1/ そう思う・やや思う意見の合計がダウンした設問(昨年比)》

- 設問 4 生徒会活動(委員会活動)・部活動や学級活動は、活発に行っている。86%(2%↓)

(学年別結果)

「そう思う・やや思う」 1年:86% 2年:87% 3年:88%

「そう思わない・やや思わない」 1年:11% 2年:11% 3年:9%

学年別の結果からもわかるように、8割の生徒が活発に行っていると感じている。2%の減少はあるが、今後も丁寧な指導を継続していくことで改善に努めたい。

《課題2/ そう思わない・やや思わないの合計が20%以上ある設問(昨年度比)》

設問 6 あなたは、授業のねらいや目標を理解して授業にとりこんでいる。23%(2%改善)

昨年度も課題として挙げられている項目であり、わずかな改善は見られるが、依然として20%を超えている。昨年度同様、「見通しをもつこと」「学びのプランの活用(見せ方やタイミング等)」を実践の中で見出していくと同時に、今一度、追浜中スタンダードにある「環境づくり」を見直していきたい。「追浜中スタンダード」については、研究の成果を反映しながら改善を図り、教職員の入れ替わりがあっても、継続していけるようにしていきたい。

## 【保護者アンケートより】

《成果/「そう思う・やや思う」 意見の合計%アップした設問(昨年度比)》

設問 1 学校教育目標や教育活動がわかりやすく説明されている。(1%↑)

設問 4 お子さんは部活動に一生懸命取り組んでいる(3年生は、取り組んでいた)。(3%↑)

設問 5 体育祭・文化発表会等の行事では、生徒が活躍する場が作られていた。(4%↑)

設問 6 授業は、生徒の学ぶ意欲を高めるような授業を行っている。(1%↑)

設問 8 学校から評価・評定の方法について十分な説明がされている。(2%↑)

設問 9 各教科の評価・評定は、多面的な視点で行われ、理解ができる内容である。(2%↑)

設問10 学校は、将来の進路学習(職業・進学)について、適切な指導を行っている。(3%↑)

設問11 学校は、生徒の悩みや相談に対し、親身に対応している。(2%↑)

設問12 「いじめ」や「暴力行為」の防止に努め「命の大切さ」や「安全」に関する指導が適切に行われている。(1%↑)

設問13 学校は、人間としての生き方を考え、自立した人間の基盤となる道徳性を養う指導をしている。(1%↑)

設問15 学校は事故防止に努め、非常災害発生時の対応について伝えている。(2%↑)

設問16 学校の施設や設備など、学習環境面ではほぼ満足できる。(2%↑)

⇒ 昨年度以上に生徒の活動の幅が広がり、保護者の来校人数の制限が緩和されて実際に生徒の姿を見る機会が増えたことなどにより、学校への理解や満足度がさらに高まったと思われます。特に昨年度の課題として挙げられていた設問5については、改善が見られました。より多くの生徒に活躍の場を設ける活動や、合唱コンクールでは、学年毎に保護者を入れ替えるなどの工夫もあったことが大幅な改善につながった理由だと考えられます。

《課題/「そう思わない・やや思わない」の合計が20%以上ある設問(昨年度比)》

設問 8 21%(→) 「学校から評価・評定の方法について十分な説明がされている。」

「そう思う」・「やや思う」意見は75%。生徒も同様の設問で、満足する意見が86%を占めている。

設問 9 22%(1%↑) 「各教科の評価・評定は、多面的な視点で行われ、理解ができる内容である。」

「そう思う」・「やや思う」意見は71%、生徒も同様の設問で、満足する意見が81%を占めている。

【考察】生徒向けアンケートと設問8・9の結果より、生徒は理解していても、保護者に説明が伝わっていない可能性が考えられる。

【手立て】生徒が自分の評価について納得・説明できるよう、今後もわかりやすく、丁寧に説明を重ねていく。

**設問10** 21%(1%↑) 「学校は、将来の進路学習(職業・進学)について、適切な指導を行っている。」  
「そう思う」・「やや思う」意見は60%だった。生徒は同様の設問で、満足する意見が80%を占めている。

【保護者向けアンケート・学年別結果】

「そう思う」・「やや思う」(1年:51%・2年:53%・3年:77%)

「そう思わない」・「やや思わない」(1年:18%・2年:31%・3年:16%)

【考察】3年生保護者は、生徒と共に進路を考える機会が多くある結果だと言える。

一方で、2年生保護者は、16%が判断できないと回答している。1年生保護者も、30%が判断できないと回答している。設問8・9と同様の状況も可能性として考えられる。

卒業生がいる家庭の保護者は、以前はあった職場体験・訪問と比較しているのかもしれない。その時と比べると、保護者に進路指導をしている様子が伝わりづらくなっている可能性が考えられる。

【手立て】キャリア教育の充実の必要性を生徒・保護者に伝えていく。

まず、進路学習は、高校進学のためだけにあるものではなく、生徒が将来なりたい自分になるために、「今すべきことは何か」「今している学習が将来どんなことにつながっているのか」を考えることだと、3年間の総合的な学習を通して意識させていく。そのためには、学習内容は生徒が将来なりたい姿を実現するときの「何」につながるのかを明確に意図し、それにふさわしい活動を取り入れる必要があることを、今回を機に改めて確認したい。その学習をもとに、生徒の学びが将来の生きる力に結びつくよう指導していることを、キャリアパスポートの取り組み等を等を通して、保護者の目に見える形でお知らせしていく。

**設問17** 学校の様子は、文書やホームページなどで家庭に知らされている。(2%↑)

【考察】生徒の活動の幅が広がったことで、保護者の学校生活への関心が高まっている表れであると考えられる。特に1年生の保護者は、小学校との違いを他学年よりも感じやすく、より生徒の様子を知りたがっているのではないかと考えられる。(1年:28% 2年:22% 3年:17%)

記述欄への回答にも、HPへの意見が見られた。

【手立て】今後も学級通信・学年通信を活用し、保護者へ定期的に生徒の学校での様子を伝えていく。また、学校であったことを生徒自身が保護者に伝えられるようすることも可能な限り実現したい。そのために、学校からの配布物等は必ず保護者に渡すよう指導したり、提出物は期日までに提出するよう指導することで、日頃から生徒と保護者が学校について話題にできる環境づくりを促すことができると考える。